

# 京都労山

2025年6月号

No. 384

発行日

2025年5月19日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>



京都府勤労者山岳連盟

## 京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

### 6月号目次

* 六つの合い言葉・目次	
* ステップアップ 自然保護委員会	01
* 事務局長会議報告	02
* クリーンハイクへの呼びかけ	03
* クリーンハイク報告書	04
* 土壌調査依頼	05
* 小塩山保全地視察報告	06
* 無雪期搬出訓練の案内	08
* 2025 夏山アルパイン連絡会の案内	10
* 春山連絡会の報告	11
* 連盟交流ハイクの報告	12
* 青年委員会クライミング体験会の報告と案内	15
* 大文字山登山道整備の案内	17
* 大文字山登山道整備の報告	18
* 能登半島地震被災者支援活動の報告	19
* 創立 60 周年記念事業第 5 回実行委員会の報告	22
* 全国救助技術交流集会に案内	23
* 連載企画・二百名山登頂シリーズ第 52 回赤牛岳	24
* 6月号の案内	25
* 連盟月間予定表「カレンダー」	裏表紙

## 自然環境の変化に目を向け、山と自然を守ろう！

自然保護委員会

昨年と同じ4月18日に、小塩山のカタクリ保全地を訪れました。去年は咲き残りの数輪しか見られなかったのが、3つの谷で斜面一杯に広がる満開のカタクリとギフチョウに出会えました。春先の寒さが影響したのでしょうか。気になるのはこのところの異常気象。4月の平均気温は、夏日が平年では約1日だったのが5日を超える所もでした。気候変動の影響が私たちのくらしや自然環境に大きく及んできているのを感じます。すでに「地球沸騰化」の時代に入ったといわれているのも決してオーバーではないと思うこの頃です。地球規模での環境問題として、気候変動とも密接に関わり「生物多様性の喪失」が大きな問題となっています。「ネイチャーポジティブ」「30by30」など生物多様性を回復するため国際的な取組み目標が掲げられ、政府・自治体もそのとりくみをすすめています。私たちが山歩きで出会う生き物、植物、花はどうなっているのでしょうか？シカの増殖による食害で高山植物はじめ多くの植物、植生がなくなっています。クマの生態にも異変が起きヒトとの摩擦も増え、私たちの山行の際にも懸念が広がっています。また外来種が増え、在来の生態系を改変するようなものもでてきます。気づかないうちにかつて身近にいた生き物が姿を消しつつあります。各地で様々な対策や取り組みがなされています。これ以上人為による必要以上の環境の改変・破壊がなされないようにすべきだと思います。すでに決定されたことであっても、変化する現状をふまえて立ち止まって、自然や環境に及ぼす影響をしっかりと考え、その見直しが必要だと思います。労山自然保護憲章（2006年2月）では「山岳での開発動向に関心を持ち、利便性にかたよることなく、事実に基づいた判断で自然がそこなわれないよう努めます」を掲げています。私たちが取り組んできた北陸新幹線京都延伸計画も自然と環境を破壊する多くの問題点が明らかになっています。ルートがトンネルで、京都丹波高原国定公園や京都盆地を貫く計画です。工事による河川や地下水の減水、濁水はあちこちの工事で露呈していますし、砒素を含む残土の対策一つとっても、これらに明確な解決策を示すことができない限り計画は見直すべきです。

労山が1974年に自然保護運動の一環として「誰でもどこでも取り組める行事」として呼びかけて、全国的に広がり発展してきたクリーンハイク。豊かな自然と登山文化を次世代に引き継ぐために、これを機に身近なところから自然をみつめ、その変化をとらえ一緒に考え行動していきましょう。

平尾 繁和

**事務局長会議報告** (各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

5月報告のみ: やましな,乙訓,右京,明峯,山城,左京,洛中,西山,伏見, 9 労山

**各会の活動状況**(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

・[右京]<例会> 4/6 バスハイク天ノ橋立 22 人,29 公開シャクナゲ尾根&翠黛山 29 名(一般から 15 名参加) <予定> 5/11 横山岳(車山行),24~25 宿泊例会神鍋山・氷ノ山(自炊)<その他> 4月末会員 55 名(男 25 女 30 名)55 才女性一人入会。

・[やましな]<例会> 4/6 綾部ミツマタと三国岳 13 人,12 山菜パーティ(いろり庵) 24 人,20 赤坂山 8 人<予定> 5/8 ハイクで俳句,10 学習部企画ロープワークと救急法(音羽山)<その他> 毎月の大文字山例会の担当者を上げつつある。

・[西山]<例会> 4/1 三点支持登降実習 13 人,13 初級登山セミナー座学 17 人,16 御在所岳 21 人<予定> 5/10~12 燕岳,18 初級セミナー実技③ポンポン山,31 公開バスハイク竜ヶ岳<その他> クリーンハイク 6 月 1 日天王山周辺 6 コースで実施

・[左京]<例会> 4/5 比叡アルプス 3 人,19 三国峠 2 人<予定> 5/10 賤ヶ岳,24 芹生トロッコ道<その他> 4/30 ミーティング左京総会について(次期役員、議長)

・[乙訓]<例会> 4/6 小割村割岳 9 人,12 多紀アルプス 13 人,27 金剛山 13 人<予定> 5/4~5 高島トレイルテント泊,24~25 春合宿那岐山<その他> 3 月末 8 名退会

・[洛中]<例会> 4/12 茶野・万野(鈴鹿) 3 人,20 高槻(芥川城跡の歴史散歩)10 人<予定> 5/18 春のワンディバスハイク明神山,25 読図教室(机上学習)

・[明峯]<例会> 4/12 京北桜巡り 7 人,20 ポンポン山 13 人<予定> 5/11 横山岳,17 六甲全縦⑥最終<その他> 50 周年記念山行 7 月 4 泊 5 日中型バス尾瀬 23 人申込み

・[山城]<例会> 4/11 小塩山カタクリ 6 人,20 妙見山クマガイソウ 5 人 総会 6/1

・[伏見] <例会> 4/20 リトル比良 7 人,27 和泉山脈飯盛~岩神山 4 人,28~29 氷ノ山テント 10 人<予定> 5/13~14 大和葛城山テン泊,岩稜トレ 4 回 5/11,17,31,6/22<その他> 夏山バス山行(7/26~28 日八ヶ岳 4 コース 20 人申し込み

**連盟の取り組み、活動報告** (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

- ① 無雪期搬出訓練 6 月 22 日(日)実施雨天決行。らくなん山の会が救急法を担当。安祥寺林道入口 am9 受付開始、9 時半より 15 時半まで。遭難対策部が担当
- ② 2025 第 52 回クリーンハイク(全国一斉清掃登山)。6 月 1 日単位労山毎で実施。
- ③ 第 5 回全国救助技術交流集会 7 月 5 日~6 日 神戸市立セミナーハウスにて。申し込み締切り 6 月 23 日、全国連盟事務局まで。
- ④ 2025 夏山/アルパイン連絡会 7 月 4 日(金)19 時 30 分から 21 時 00 分まで 連盟事務所 2 階会議室。リモート併用。参加 6 月 30 日まで。

6 月の事務局長会議は、6 月 3 日(火)PM 7 時半から WEB 専用会議とします。

## 第52回全国一斉清掃登山・クリーンハイクへの呼びかけ

### ～ふるさとの山の素晴らしい自然を後世に引き継ごう～

日本勤労者山岳連盟は、1974年10月に全国自然保護強化月間を設け、これを機に、毎年6月第一日曜日を全国清掃登山の日と定め、今年で52回目を数えます。私たちが労山自然保護憲章の中でも謳う「クリーンハイク運動に参加し、登山者のモラルを高め、山からゴミを一掃しよう」と50年以上にわたり継続してきたことで、登山者のモラルは向上し、登山道でのゴミは少なくなり、昨年は6033名の仲間が4185kgのゴミを回収しました。昨今の山々は、トイレ問題をはじめとして、CO<sub>2</sub>排出による地球温暖化やニホンジカの食害問題、外来種等による生態系の劣化など様々な課題に直面しています。今後も、クリーンハイクでゴミを拾いながら地域の課題に目を向けて多面的な自然保護活動へと展開していくことが私たち登山者に求められています。さあ、みなさん、今年もふるさとの自然を楽しみ 新たな課題に一步を踏み出し『全国一斉クリーンハイク』を実りあるものにしていきましょう。

2025年 日本勤労者山岳連盟 全国自然保護委員会

#### 記

1. ゴミは山に捨てず、持ち帰りましょう。
- 2.
3. バイオトイレや携帯トイレブースはまだまだ不足しています。携帯トイレを利用し自然環境への負荷を減らしましょう。
4. 外来種問題や登山道や周辺施設の点検・整備など地域の課題解決に取り組みましょう。
5. 再生可能エネルギーは私たちの生活に欠かせませんが、自然環境の劣化や生態系の破壊につながる太陽光パネルや風力発電設置は認められません。開発動向に関心を持ち情報を共有していきましょう。



ふるさとの自然を守り育てよう

## 第61回(2025年) クリーンハイク報告書

京都府勤労者山岳連盟自然保護委員会

クリーンハイク実施後は、速やかに下記報告書を送信して下さい。

特に、ゴミ回収を京都市に依頼する会は、市まち美化係へ回収の連絡をしますので、クリーンハイク実施日の午後7時30分までに、可燃、不燃ゴミの分別袋数(中止の場合もその旨)を、下記に必ず連絡して下さい。

それ以外の会についても、集約の関係上、報告は6月8日(日)までをお願いします。

なお、日程変更となった場合のゴミ回収や、産業廃棄物等の対応については、各会で、京都市まち美化事務所や各役所に問い合わせして下さい。(京都市まち美化事務所:

報告書送信先 : 洛中牧村 メールjrsk-1021@yahoo.co.jp (電話090-3920-3312)

会名		報告者氏名			電話				
参加者数	会員	人	会員外	人	合計			人	
山域 山名 コース									
ゴミの量	可燃物	袋	kg	不燃物	袋	kg	合計	袋	kg
不法投棄や回収 不能なゴミなどの 状況	* 可能なら、場所を示す地図や説明、写真をつけてください。 なお、回収については、各会から行政への連絡をお願いします。								
登山道の倒木・崩 壊などの状況									
バイクの通行によ る登山道等の荒 れの状況									
整備を要する箇所 等									
ナラ枯れ被害									
ササ枯れや食害									
土壌調査の実施	・実施した		・実施していない		特記				
その他、全般的な 感想等									

2025年 5月 9日

各会事務局及び自然保護担当者様

京都府勤労者山岳連盟

自然保護委員会

## 2025年 土壌調査サンプル採取のお願い（依頼）

日頃より自然保護委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。  
2008年より、クリーンハイク時にとりくまれている山域の山頂付近を中心に土壌サンプルを採取いただき土壌の酸性度を調査しています。大気汚染物質（SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>等）が酸性雨として影響し山での植生の変化と関係している可能性もあり、データを継続的に蓄積することは今後の自然の変化を見ていくうえでも大切なことです。この点をご理解いただき、本年の土壌サンプルの採取をよろしくお願ひします。

### 記

- 1 採取場所 クリーンハイク実施山域の山頂付近  
できるだけ定点での採取をお願いします。
- 2 採取方法 地表の腐葉土を除いて約10cm掘ったところの土壌  
1ヶ所で2袋採取（10g程度）
- 3 送付期日 6月30日（月）までに下記へ送ってください
- 4 送付先 〒629-0133 南丹市八木町観音寺64 麻田 育良

TEL/FAX 0771-42-2664 Eメール a1s1a1d1a11@hotmail.com

## 小塩山カタクリ保全地見学、竈ヶ谷自然観察

自然保護委員会 平尾繁和

自然保護委員 2 名で、小塩山のカタクリ保全地を見学した。昨年と同じ 4 月 18 日、カタクリの開花時期は 4 月 8 日～13 日頃と聞いていたが日程が合わず、今年は春先から寒い日が続き、開花も遅れているのではとの淡い期待もこめてこの日となった。8 時 30 分大原野公園森の案内所看板前から、西山縦走路を北へ登った。尾根筋はミツバツツジが満開、9 時 20 分頃天皇陵前に到着。保全地は 10 時から開所で、少し早かったので御陵の谷の入口まで往復した。カタクリが 1 輪咲いていて期待に胸が膨らんだ。

N の谷の受付場所では、スタッフが打合せ中で、ギフチョウがいるよと教えてもらった。(ギフチョウは絶滅危惧種で京都府天然記念物) N の谷に入ると斜面一面にカタクリが満開だった。シロバナのカタクリも数輪あり、チゴユリやエンレイソウ、ニリンソウの花も咲いていた。ギフチョウの幼虫の食草のミヤコアオイの花も見られた。

カタクリは種子から花が咲くまで 7 年かかり、7 年目にやっと二葉となり花を咲かす。1 年目の爪楊枝より細い実生も表示札のおかげで見られた。続いて炭の谷へ移動、ヤマドリソウやアオハコベの花も林床に見られた。スタッフの話では、開花後も 6 月頃までは林内には入らず、その後樹木が葉を茂らせササなどの草が数十 cm に伸び林床を覆い尽くすそうだ。

9 月末から 11 月にかけて休日に 6 日、草を刈り樹木を伐採するなどの作業をし、春先には 4 日ほど観察路の整備等の作業をすること。樹木を適度に伐採し明るい薪炭林の環境に戻し、急増するシカやイノシシの食害防止の活動を 25 年にわたり取り組んできたと同った。保全活動をしている西山自然保護ネットワークでは、会員のうち活動会員は興味や都合に合わせて好きな取組に自由に参加できるとのことだった。最後に御陵の谷を回って森の案内所へ向かい下山した。途中道路上に止まっているギフチョウを見つけた。午後は、森の案内所を出発し、竈ヶ谷に入り東尾根分岐まで往復し自然観察をした。フタバアオイの群落がネットに囲われてあり花をつけていた。

ヤマアイ、ヤマドリソウ、ミヤコアオイ、トウゴクサバノオ、イチリンソウ、ヒトリシズカ、ヤマブキソウなどの花がたくさん見られた。オオキツネノカミソリが葉を繁らせ群生していたので夏が楽しんだ。



カタクリ



ギフチョウ



ミヤコアオイ



フタバアオイ



ニリンソウ



トウゴクサバノオ



ヤマルリソウ



ヤマブキシソウ



ヒトリシズカ

## 2025年度 京都府連盟 無雪期搬出訓練のご案内

山岳遭難事故は、身近な低山での発生が増えています。それを踏まえて、登山中に遭難事故が起こった場合を想定して、搬出訓練を下記のとおり行います。訓練では、簡易ハーネスの作り方、カラビナスルー、各種結び方など、日頃持って行っている装備だけを使った安全な登下降方法を学びます。

また、搬出法ではザック搬送を、トレッキングポール・カップそれぞれを使って作成します。さらに、遭難時の初期対応についても講習の時間を取ります。

今年の応急手当は、らくなん山の会が担当で、三角巾のたたみ方、止血の方法、骨折(腕)の手当等を行う予定です。各会から参加ください。

### 無雪期搬出訓練実施要項

1. 実施日 : 2025年6月22日(日) 雨天決行
2. 集合場所 : 安祥寺林道入り口 (次ページの地図を参照)
3. 訓練場所 : 集合場所付近 (次ページの地図を参照)
4. スケジュール予定 (一次案につき微細な変更の可能性があります)

9時00分～ 受付開始

9時30分～ 訓練開始挨拶

9時45分～ 応急処置講習

11時00分～ 搬出訓練実施 (ロープワーク、搬出法)

15時00分～15時15分 反省会、解散

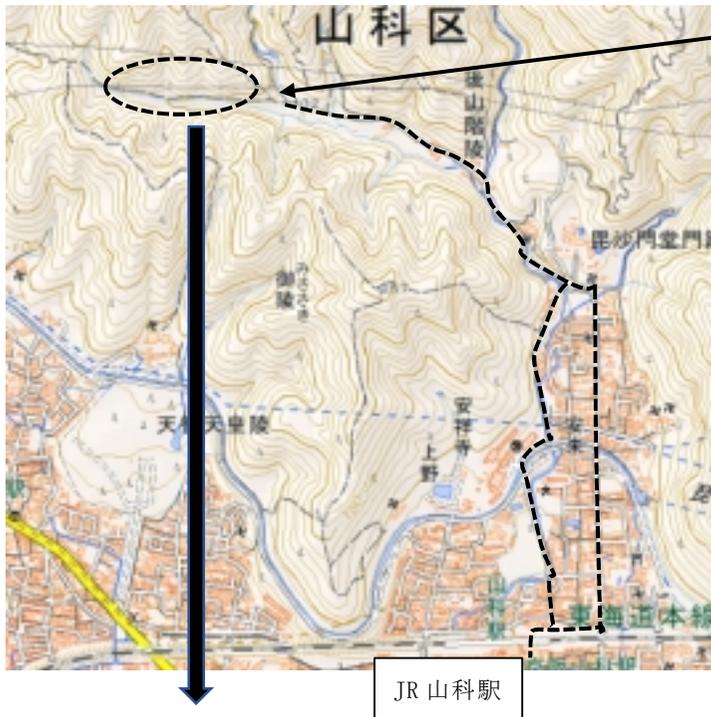
#### 5. 持ち物

- ・一般日帰り装備一式……会が推奨している非常事態に備えての携行装備を含みます。
- ・細引きで急傾斜地を安全に登り降りする講習をおこないますので、簡易ハーネスを作る細引きやカラビナ、テープスリング、ヘルメット等も持って来て下さい。

※ヘルメットの無い方は、急斜面での講習は見学のみとなります。

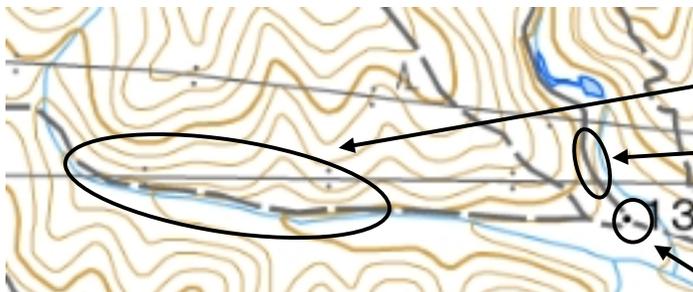
#### 6. 参加条件 : 労山基金、又は、民間山岳保険加入

- ★各会にて参加者の集約をし、申込み表を6月6日までに遭難対策部 WAO 亀岡大釜さんのメール→ [kkte41.dream@gmail.com](mailto:kkte41.dream@gmail.com) まで送付下さい。
- ★申込み表は事前に各会へ送ります
- ★参加会には事前にテキストをお送りします。
- ★参加者の連絡先、留守宅氏名・連絡先は各会現地参加責任者が把握して下さい。



受付、訓練場所  
 安祥寺林道入り口  
 山科駅から歩いて30分

受付場所までは歩いて来て下さい。  
 車で来られる場合は山科駅周辺のコインパーキングに停めて下さい。



搬出訓練場所  
 集会場所  
 受け付け場所

## 2025年 夏山/アルパイン連絡会のご案内

夏山シーズンを安全に迎えるため、今年も遭難対策部恒例の『夏山/アルパイン連絡会』を開催いたします。

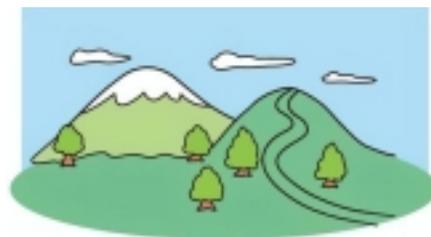
当日は、山行中に注意すべきポイントの共有や、実際の山行写真を見ながらの情報交換を通じて、皆様の交流を深める場としたいと考えております。

これから夏山登山を計画されている方、すでに山行を企画中的の方、また夏山登山に興味をお持ちの方など、どなたでもご参加いただけます。リモートでの参加も可能ですので、お気軽にご利用ください。

なお、山行計画をお持ちの方は、山行計画書（詳細未定の場合は簡単な企画書でも結構です）をご用意ください。あわせて、山行写真データがある方は、SDカードやUSBメモリ等に保存の上、事前にご送付くださいますようお願いいたします。

### 記

- 1 日時 7月4日（金）19：30～21：00
- 2 場所 連盟事務所2階会議室（京都市右京区花園伊町4）  
※リモート会議併用
- 3 申込先 [aki1127aki@gmail.com](mailto:aki1127aki@gmail.com)（福知山山の会 金山 晶子）  
※問い合わせ先も同じ
- 4 締切
  - ・参加申込 : 6月30日（月）
  - ・山行計画、写真等 : 6月27日（金）
- 5 その他
  - ・申込メールの件名に「夏山連絡会」とご記入ください。
  - ・参加者には事前に山行計画書・資料をメール配信します。
  - ・リモート参加者には後日返信メールにて参加用 URL を送付します。



## 2025年 春山連絡会について

日 時：4月4日（金）19：30～20：30

場 所：連盟事務所2階会議室  
（リモート会議併用）

《参加者》 ・6名（会場参加2名、リモート参加4名）

《内 容》 提出いただいた春山山行計画書について意見を交わしたり、情報交流を行いました。

今回は写真や動画の提出はありませんでした。

	氏 名	所 属	参加方法	山 行
1	川端 純子	丹後山の会	リモート	・青年十石山(中止)
				・雄山東尾根
				・双六～鷲羽岳～水晶岳
				・薬師岳黒部五郎
2	国松 茂	やましな山の会	会 場	・乗鞍岳
3	坪山 芳樹	明峯山の会	会 場	・小蓮華尾根～白馬岳
4	村上晃弘	洛中労山	リモート	・奥穂高岳・涸沢岳
				・木曾駒ヶ岳
5	岩根 浩	左京労山	リモート	・北アルプス 前穂高 明神岳
6	金山 晶子	福知山山の会	リモート	

## <山行報告> 京都連盟交流ハイク 西山・ポンポン山

<山行日> 2025/4/20 (日)

<参加者> 井上、田中、田代、三宅 (伏見)、高岸 (洛南)、中村 (田辺)  
高木 (右京)、松方 (CL)、別当 (CL)、笠置 (SL)、今西 (SL)、  
西村 (悦)、檜崎、高村、吉田 (均) 吉田 (裕)、河村、森、  
坂本 (乙訓) 計 19 名

<コースタイム>

10:10 善峯寺バス停⇒10:25 三鈷寺⇒11:00 杉谷⇒11:15 東尾根入口  
(ハンノキ坂) ⇒11:40 峠⇒11:50 東尾根 (竈ヶ谷分岐) (竈ヶ谷往復・  
花鑑賞) ⇒12:50 西尾根⇒13:15 リョウブの丘 (昼食・自己紹介など交  
流) 13:45⇒13:55 ポンポン⇒14:30 釈迦岳⇒15:35 善峯寺バス停

<報告>

雨予報で心配された天気予報が曇りながらも時折日がさす天候となった。シャガが咲き乱れている登山口より三鈷寺へ向かい乙訓景観十景の絶景を楽しむ。さらにみずみずしい新緑の下を進んで満開の枝垂桜が美しい杉谷の集落経由し、東海自然歩道を進み東尾根入口よりケヤキ平を通り様々な花が咲き乱れている竈ヶ谷へと向かう。それまでは足早に歩いて



いたがここに来てイチリンソウ、ニリンソウなどあまりにも可憐な花たちに囲まれ、皆、リーダーに花の名前を教えてくださいながら撮影に没頭。他の登山者とも情報交換するなどして停滞状態となった。何とか竈ヶ谷をピストンして空腹を抱えながら西尾根経由にて昼食場所のリョウブの丘へ辿り着き素早く昼食を済ませ、全員が輪になって自己紹介を行う。みなさん



カタクリ (左) ニリンソウ (右)

低山・高山に関わらずなかなかの経験者が揃っておられる様子であった。その後急ぎ足でポンポン山山頂・釈迦岳へ向かった。途中カタクリの群生地に立ち寄ることができ、すでに盛りを過ぎていたとはいえその楚々として清純な紫の花の群生を拝むことができた。さらに美しいミ

ツバツツジを愛でながら釈迦岳山頂を經由し西山古道を善峯寺バス停へと下る。みなさんさすがの健脚で最終盤に至っても早足で下って行かれ少し押していた時間も取り戻し帰りのバスにも余裕で間に合う時間に下山することができた。時間の関係でゆっくりと交流することは叶わなかったが、新緑と美しい花々を楽しむことができとても良い山行となった。

坂本（乙訓）

<感想>

気温はちょうど涼しく、色々な草花もたくさん観れて、とても気持ちのよいハイキングでした。素敵な紳士・淑女たちとの出会いもあり、楽しくお話も弾みました。スタッフの方々にはお世話になりました。ありがとうございます。これからも、山の仲間たちと交流の機会が増えればさらに楽しくなるだろうなと思いました。

井上（伏見）

ポンポン山は花の宝庫。紫ケマン、シャガ、二輪草、一輪草、山吹草、ひとりしずか、オオキツネノカミソリ。こんなに可憐な花だったのね、トウゴクサバノオ。担当の乙訓の皆様、すばらしい花の山を紹介して頂きありがとうございました！これからも日本の花の山、守って行きたいですね。

高岸（洛南）

ポンポン山は単独で2度上がった事はありませんでしたが、今日のルートはそれとは違っていたので新鮮でした。野草の名前も沢山教えてもらい写真にいっぱい納めました。天候も曇りで暑くなく上がるには良かったです。皆さんお世話になりました、ありがとうございました。いい思い出になりました。

河村（乙訓）



阪急東向日駅からぎゅうぎゅう詰め  
のバスに揺られ、何とか善峯寺停留所  
に到着。いざポンポン山へ。色とりど  
りの春の草花（ニリンソウ、ヤマブキ  
ソウ、トウゴクサバノオ等々）の鑑賞  
をしながらの今回の登山は、いつもと  
は違う気分を味わえ、日頃のストレス  
から解放され癒しの時間となりました。  
天気にも恵まれ、他会の会員さん



イチリンソウ

とも交流でき、とても楽しい山行となりました。リーダーさん、ご一緒した皆さま、ありがとうございました。

吉田裕吹（乙訓）



ヤマブキソウ

雨予報に直前まで悩みましたが、当日はますますのお天気で安堵しました。ポンポン山の谷も尾根も良いところを繋いだ欲張りなコースでしたので、時間配分に気を遣いましたが、お花の見どころではゆっくり写真を撮り、そうでない所はピッチをあげたりと、メリハリをつけて歩き、皆さんが健脚でしたので、最後は予定より早めに下山することが出来ました。樹々は芽吹き、花はミツバツツジが満開で、竈ヶ谷の花達も寒さが続いたせ

いか、例年なら順を追って咲くところが、二輪草、一輪草、山吹草が同時に咲揃っていたのは幸運でした。

別当（乙訓）

目に染みる新緑、色とりどりの可憐な花々、稜線を吹き抜ける涼やかな風、そして何より、山をこよなく愛する仲間たち。私自身は、昨年秋、脚を負傷して以来の本格的な山行となりましたが、何とか歩き通すことができ、今後の活動に向けて大いに弾みがついて、本当に素晴らしい一日となりました。お世話いただいた役員の皆様に改めて感謝いたします。ありがとうございました。

高村（乙訓）



〔青年委員会&丹後山の会コラボ企画〕

## クライミング体験会（第2回）報告&今後の案内

青年委員会担当・丹後山の会 川端純子

〔第2回 2025年 5月11日（日）烏帽子岩 報告〕

参加者 青年層2名、丹後山の会2名、スタッフ2名

第1回目は雨天中止としたので、今回が初回となりました。

クライミングが全くの初めての人やはじめたての人など3人をお迎えし、烏帽子岩でクライミングを楽しみました。日曜日で混雑していましたが、空いているルートを8本ずつ登りました。ビレイやアドバイス等を舞鶴山遊会の辻さんと福知山山の会の永田さんにお世話になりました。ありがとうございました。

〔参加者感想〕

初めてのクライミング体験会と烏帽子岩でしたが、皆さんの的確なアドバイスで登れそうにないルートも登らせていただきありがたかったです。次回も参加させてもらえたら嬉しいです。お疲れ様です。どうもありがとうございました。

（らくなん山の会 小幡貞輝）

初クライミング参加してきました。緊張感、恐怖感、集中力等でもう身体はヘトヘト状態ですが楽しかったです。

（丹後山の会 大西明美）

好天に恵まれ、2ヶ月ぶりのクライミングで登れるか心配でしたがサポートして貰い、今まで苦難して登れ無かったコースを3本登ることが出来楽しい1日を過ごさせてもらい企画に参加して良かったです。有難う御座います。（丹後山の会 澤谷 雅男）



## 〔クライミング体験会 今後の案内〕

クライミングをやってみたいと思っている人向けに、クライミング体験会を行っています。青年のみなさん、一緒にエンジョイクライミングしませんか！！

全く初めてという方は、まずは毎月第3金曜日に開催されている「やまびこ」でのインドアクライミング（京都労山ニュース2025年3月号参照）へのお試し参加をお薦めします。

### 記

行き先 烏帽子岩  
山行日 第3回 2025年 6月15日（日）  
第4回 2025年 7月 6日（日）

集合場所・時間 各回とも JR 福知山線 道場駅 8時

参加対象 60歳未満の京都労山会員、または丹後山の会会員で、労山基金5口以上加入、またはそれに準ずる山岳保険に加入している方。



装 備 クライミングシューズ、ハーネス、ヘルメット、  
昼食、飲料、あればその他クライミング用具

申 込 山行日1週間前までに、川端純子（丹後山の会）宛に  
メール asytjjun@yahoo.co.jp、または個人LINEで申し込んでくだ  
さい。参加日、所属会、連絡先、緊急連絡先もお知らせ下さい。  
装備等のお問い合わせもお気軽に上記連絡先へお願いします。

その他

- ・ご都合のよい日のみの参加でOKです。
- ・定員があります。
- ・クライミングは危険を伴います。事故などの責任は負いません。
- ・参加者は所属会の山行規定に従い、必要な届け出を済ませてください。

## 京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

安祥寺上寺跡右俣登山道周辺の整備を行います。ここは谷が狭く、太く長い倒木が密集しているので今まで以上に危険が伴います。作業前には十分に打ち合わせと危険予知を行い、作業中も声を掛けあってケガのないように行動します。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。伐採する倒木には1本1本管理事務所の伐採許可番号札が貼り付けられています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日：6月7日（土曜日）7月12日（土曜日）

本降りは中止。小降りは状況によって実施。天候が怪しい時は前日か、当日の朝早く判断して中止メールを送ります。

怪しいなあとと思った時はメールを見て下さい。

★申し込み締め切り：実施週の月曜日

★集合場所：JR山科駅改札口付近 8時30分には出発します。

★参加申込先：連盟登山道整備担当 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール [2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp](mailto:2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp)

留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ（任意）、笑顔（必携）

★共同装備：ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が1/3切れたら声を掛けること。1/3でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
- ・コロナはまだ続いています。

本人や同居家族で微熱や、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行ってください。



## 京都府連盟～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2025年4月6日（朝は雨 昼前から晴れ）一作業は昼から実施

やましな：青山郁夫, 久子 山口一夫 右京：西村澄子

山科駅 11:46--11:53 洛東高校前昼食 12:14--12:36 林道入り口 12:43--13:06 安祥寺上寺跡右俣登山道整備 16:15--17:16 山科駅北側

早起きしたら青空が見えていたので6時前に参加者に「本日予定通り実施」とメールを送ったが直ぐに雨が降ってきたので「本日は昼から実施」の訂正メールを送った。しかし、私の確認不足で田辺の宮内さんは当初予定時間に集合場所に来られた。宮内さん、本当にごめんなさい。これからはややこしくなったら電話で連絡します。

今回は整備中にB尾根に行く本来の登山道を発見した。今まで整備した谷道は倒木のため本来の登山道が通れなくなったための迂回路だった。また、京都大阪森林管理事務所に倒木伐採の許可を得て本来の登山道を整備したい。

山口さん

以前比叡山に行った時に右京の方から「倒木整備にやましなの人の参加が少ないねえ」という話が出たのと、土曜日は仕事で来られないけど、日曜日だし桜も見られるしということで今回初めて参加。

今日の半日の作業で結構汗かいたのでこれが夏の時期ならかなりハードと感じた。日にちが合えばまだ参加したい。

西村さん

今日から、反対側の谷に入ります。踏み跡が沢山あり 見分けがつきにくい?? 取り敢えず整備する。が、虫が多い。

久子さん

午後からだったが、十分活動できた。冬枯れから春の芽吹きの間で斜面が良く見え、以前下見し、前回整備した谷筋に新たにテープや踏み跡が見つかった。いずれ誰かがこの道を通って上寺跡に行ったり、B尾根を登ったりできるように安全に整備していきたいと思う。



今回もみんなで頑張って登山道整備に取り組みました。山口さん、頑張っていました。

## 第 33, 34, 35 回 能登半島地震復興支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

第 33 回 活動日：2025 年 4 月 3 日、4 月 4 日

参加者 やましな：青山郁夫 久子

4/2 右京区の歯医者さん 9:37—南条 SA 昼食—17:08 七尾城登山口駐車場（夜小雨）

4/3 七尾城登山口駐車場 7:25—石崎保育園—田鶴浜被災者宅活動—ななか 2 往復—紙吉古紙搬送—15:07 石崎保育園、園庭清掃—18:35 金沢駅西口駐車場車中泊（夜小雨）

★参加者：全体で 43 名 私たちの班 10 名 軽トラ 2 台 軽バン 私のセレナ

★活動内容：七尾市田鶴浜、母屋と公費解体予定の倉庫の物品搬出搬送

4/4 金沢駅西口 7:10—ボラバス—9:20 輪島ボラセン—門前被災者宅—民間処理場 2 往復—輪島ボラセン 15:46—ボラバス—18:24 金沢駅西口 18:30—双葉湯— 23:19 京都 762km 走行

★参加者：ボラバス 24 人、現地集合 10 人 私たちの班 5 人 軽トラ 2 台 軽バン 1 台

★活動内容：地震で被災した公費解体予定のおうちの物品搬出搬送

青山郁夫

田鶴浜のおばあちゃん。「前に大事な物を持って行かれた。やっぱり、見てなあかんなア」と嘆いておられた。二度と見る事が出来なくなった大事な思い出の品が目に浮かぶ。私たちの活動は一番に被災者の方に寄り添い被災者の気持ちにならなくてはとつくづく思った。今回でボランティアのお手伝いは終わったがこれから毎日、一人でコツコツと大事なものの整理をされるだろう。新しい生活が早く来たらいいなあ。おばあちゃん笑顔に見送られながらお身体を大切にとおうちを離れた。

青山久子

七尾市では以前に伺ったお宅で、家主さんも覚えてくださった。広い敷地内の別棟の家屋の 2 階から荷物を運び出す。前回蔵から運び出した七輪もきちんと収まっていた。

2 か月ぶりの輪島では、被災者宅で住まれていた方のお子さんの卒園証書や卒業証書がその時に着た服と一緒に箱に収められていて、処分するに忍びない思いであった。

輪島でも七尾市でも顔見知りのボランティアの方が多くなり、皆さん能登に気持ちを寄せて継続的に活動をしておられることに自分自身も励まされた。



4/3 家の中の物品を運び出す。



4/4 門前の総持寺近くで昼食



輪島ボラセンの活動資材

第34回 活動日：2025年4月17日18日19日

参加者 やましな：青山郁夫 青山久子

4/16 京都 11:55—賤ヶ岳 SA 昼食—能越道—どんたく七尾—17:29 農遊庵泊

4/17 農遊庵—保育園—鵜浦町被災者宅—旭町倉庫—保育園—弁天湯—保育園ホール泊

★参加者：全体で29名 私たちの班8名 軽トラ2台 私のセレナ

★活動内容：今日が作業初めてのおうち、4/23に公費解体の家屋と納屋の要、不要品の分別搬出、仮置き倉庫搬送 大事なものが一杯だった。継続案件。

4/18 保育園—七尾市中心街の矢田新町被災者宅—保育園—弁天湯—保育園ホール泊

★参加者：全体で33名 私たちの班8人 軽トラ2台 私のセレナ

★活動内容：今日で作業2回目、修理家屋と公費解体家屋の要、不要品の分別搬出移動、仮置き倉庫搬送。きっちり分別されていた。継続。

4/19 保育園—鵜浦町被災者宅—旭町倉庫—保育園—弁天湯—保育園—京都 833km 走行、内活動で127km走行)

★参加者：全体で48名 私たちの班AM6名 PM+8名 私のセレナを含めAM4台 PN6台

★活動内容：4/17と同じおうち。家屋と納屋の要、不要品の分別搬出、-仮置き倉庫搬送。昼から応援が来たので大分進んだがもう一日あれば完了する。

青山郁夫

今回は4/19に労山石川県連の活動に参加予定であったが都合により予定を変更して4/17,4/18,4/19と3連続でおらっちゃに行った。鵜浦町のおうちは4/23に公費解体予定であるのに今回初めてボランティアを依頼された。今まで家族で整理をされていたが解体の日が迫りボランティアを依頼されたのだろう。4/17,4/19とみんなで頑張って家財の分別をして搬出搬送したがまだまだ残っていた。4/18は七尾市中心街のおうち。事前に必需品不用品を分けておられたので手際よく作業ができた。

青山久子

1日目と3日目で同じお宅で活動をさせていただいたが、高齢なお母さんとお身体が不自由なご長男さんが帰る時に『ありがたい、ありがたい』と手を合わせてくださった。2日目のお宅では岐阜から片付けに帰って来られた娘さんが、『岐阜者は誰一人手伝いに来ないのに、ボランティアさんは全国から来てくれてありがたいね』と言われた。静岡から一人で来た若者がその言葉に感激していたのが印象的。



毎週月金の朝はホールで体操



4/18のホールの夕食。豪華



旭町仮置き場倉庫。回収品が一杯

**第 35 回** 活動日：2025 年 4 月 27 日、28 日

参加者 やましな：青山郁夫 青山久子

4/26 山科 12:6—能越道—どんたく夕食買出し—17:13 七尾城登山口駐車場車中泊

4/27 七尾城登山口駐車場—おらっちゃ七尾保育園—石崎町被災者宅（農遊庵の近く）—保育園—弁天湯—保育園ホール泊

★参加者：全体で 82 名 私たちの班 AM19 名, PM12 名 私のセレナを含め 6 台

★活動内容：今回 2 回目。公費解体する家屋の家財仕分け搬出搬送。一杯運んだ。完了。

4/28 保育園—鶴浦町大津町被災者宅—保育園, 早く帰ったので園庭清掃—弁天湯—保育園  
18:03—23:24 京都 766km 走行, 内活動で 42 km 走行)

★参加者：全体で 68 名 私たちの班 10 人 私のセレナを含め 3 台

★活動内容：今回 4 回目。公費解体する家屋の家財仕分け搬出搬送。山間部のとても大きな家だった。もう 1 回で完了する。

青山郁夫

第 34 回のことだが作業時にレジ袋に入れて置いといたテルモスとチタンのカップが紛失した。不用品と一緒に仮置き場に搬送された模様である。失敗失敗。

今回の失敗はスプレー缶に穴を開けた時に液体が飛び出しみんなのバックが汚れてしまった。また、塗料缶を開けてしまいコンクリートを着色してしまった。まだまだ未熟。今後は同じ失敗を繰り返さないよう危険予知を十分に行い作業をしたい。

2 日間とも団体の若者の参加が多かった。飛行機で栃木から来たお父さんと中三の女の子と一緒に。お年玉も全部寄付した。一度行ってみたかったとのこと。今回も保育園には静岡, 広島, 長野, 堺, 新潟, 宮城等々の車が停まっていた。京都は近い方である。

青山久子

公費解体前の片付けの件数がとても多い。今回ろうあ者の方が 1 人でボランティアに参加されていて、休憩中など 1 日目は筆談で、二日目はスマホや身振り、口読でコミュニケーションを取った。また古紙の仕分けや可燃・不燃物の仕分けなどルールがあるのでお互い声を掛け合っけて気持ちよく活動できるよう努めた。

家主さんとメンバーがワンチームで荷物の運び出しを終えて、最後に解体前のおうちをほうきで掃いて『長い間ありがとう、お疲れ様』という気持ちで家主さんに確認をしていただくと、家主さんも少しは前に進んでいけるかな。



4/27 みんなで搬出品の分別



4/28 とても大きな家で作業



4/28 は全員で 62 名の参加。頑張ってる

## 第5回実行委員会(京都労山60周年記念事業) 記録 平尾

2025年4月23日(水)pm7時30分～8時30分 (リモート専用)

参加者:近藤(乙訓)、岩井(伏見)、高木(右京)、山本(洛中)、安倉(田辺)、宮内(田辺)、金山(福知山)、青山大(やましな)、岩根(左京)、野原(WAO)、沖(山城)、安田(らくなん)、西村、坪山、平尾(連盟)、青山郁(オブザーバー)/16人 敬称略

<今回の内容>

- ① 過去4回の委員会における合意事項の確認
  - 会員数を2年間で再び1000人を目指す。
  - 60周年事業のテーマを「交流」とする(各会、世代間での経験、技術の継承)
  - 派手にせず実のある記念事業とする。
- ② 記念事業として大文字山倒木・登山道整備を行う
  - やましな山の会青山郁さんから、資料をだしてもらい説明をうけた
  - 次回の委員会で、実施するかどうか決めていく(必要な時には青山さんに出席してもらう)
  - 実施はこれまでで行ってきた登山道整備の方法を踏襲し、60周年実行委員会主管で行う予定
  - ・整備箇所の際は、経塚山南のB尾根登山道上部
  - ・新しい場所での作業には、調査に1日、申請から許可まで2ヶ月以上かかる
  - ・作業は、50人で1日の量だが、安全のため何班かに分け班責任者を決め10人ぐらいでして5日かかる
  - ・現国有林での登山道整備は、あくまで倒木整備となる(スコープを使つての整備は森林管理事務所に新たに問合せ、打合せが大変なので考えていない)
  - ・チェーンは斜めの木で利用したが、危険なので安全面から使用せずノコギリで行う(防護服に費用がかかる)
  - ・整備予定箇所は山科駅から歩いて60分くらいの所(駐車場は駅周辺のコインパーキング)
- ③ 2025交流山行について具体的な提案
  - 担当3会打合せの報告 参加:やましな、左京、WAO、西村(連盟)
  - ・日帰りで行う、11月8日(土)か9日(日)どちらか(会場確保の関係で)
  - ・場所は、亀岡付近「り溪」(北部の人も参加しやすい場所)
  - 北部から1～2時間程度、集まりの持てる場所(候補)
  - 少年自然の家 借りられるかは未定 誰かが泊まれば会場使用可?
  - り溪温泉 宴会場所等を利用できるか?
  - ・内容 午前 集まって催し、中身は未定、今後検討
    - 一つの案 会のベテランの人が知識・技術を発表(数グループ)、不用品バザー
  - 午後 交流山行「深山」 往復3時間弱
  - 担当3会で日程、午前のタイムテーブル、内容等について、引き続き相談していく
- ④ 60周年記念誌の発行 担当委員(西村)から説明
- 50周年記念のような大分な冊子にせず、基本は10年間の記録と京都連盟所属の各単位労山からの報告とする。60周年記念事業の記録もまとめる。  
現在は担当5人、記念事業の取材に委員会からの増員も考慮
- ⑤ 今年をプレとし、来年10月の本番の内容の検討
  - 記念山行について
    - ・巾を持たせ、近場と遠方で考えていく
    - 年輩の会員は近場を希望、技術のある人、若い人はアルプス等
    - ・1ヶ所ではなく2、3ヶ所考えて、行きたい人が集まれるようにする
    - ・ロープウエーで蓬莱山
    - ・バスが借りられるならいづつか設定してはどうか
    - ・ハイキング委員会・女性委員会の交流ハイク・山行との日程的関わりがあるので、60周年の年はどうするか常任理事会での調整が必要
    - ・麓でキャンプをし、翌日分れて山行(マキノ高原?)
  - 記念品について
    - ・記念品は要らない、どちらでもいい
    - ・キーホルダー、缶バッジ、ワッペン、手拭、タオル、ハンダナ、ファイル、マグカップ
    - ・予算総額から記念品に使える額を決め品物を考える(会員全員に配布すると相当額となる)
- ⑥ 実行委員会の委員長、副委員長の立候補、決定
  - ・次回以降に決めるので各委員が考えておく(当面西村が進行)
- ⑦ 実行委員会を定例化し、第3水曜日 PM7時半から WEB 会議とする
  - ・次回は、5月21日(水) PM7時半から WEB会議

以上

# 第5回全国救助技術交流集会 実施要綱 (案)

日本勤労者山岳連盟 遭難対策部

期日 2025年7月5日(土)～6日(日)  
場所 神戸市立神戸セミナーハウス・講堂  
参加対象 地方連盟および加盟団体の遭難対策担当者、それに準ずるもの

日程 5日 12:30 受付  
13:00～13:30 全国連盟遭対部 基調報告  
13:30～15:15 ココヘリ捜索の現状と今後について  
休憩 15分  
15:30～18:00 質疑・応答・報告・討論  
(地方連盟からの捜索・救助事例報告)  
18:00～21:00 夕食・懇親会

6日 9:00～10:30 搬送技術(ザイル担架の作り方他)  
休憩 15分  
10:45～11:30 質疑・応答  
全国遭対部まとめの報告の後、12:00解散  
※天候によっては百丈ヤグラの利用方法について(紹介と実演)

費用 1. 宿泊付全日程参加者は6,000円(資料・一泊二食付)  
2. 日帰り参加者は一日で二日でも500円(資料代)  
3. 交通費は各自負担  
4. 各地方連盟・加盟団体報告者の宿泊費と交通費は全国連盟が負担します。

宿泊 神戸市立神戸セミナーハウス  
〒651-1503 神戸市北区道場町生野字 ロクゴ318-2  
TEL: 078-985-4391

問い合わせ先 全国連盟事務局 TEL 03-3260-6331  
FAX 03-3260-6331 E-mail jwaf@jwaf.jp

申込締切 2025年6月23日(月) 別紙にて全国連盟事務局まで

<コース&タイム>

- 22(土) 自宅~中房温泉登山口~有明山往復(3h59)~安曇野山荘泊(舞鶴山遊会と交流)
- 23(日) 安曇野山荘~餓鬼岳~餓鬼岳小屋泊(6h01)
- 24(月) 餓鬼岳小屋~餓鬼岳~唐沢岳~餓鬼岳~餓鬼岳小屋~東沢岳~燕岳~燕山荘泊(9h43)
- 25(火) 燕山荘~中房温泉=車で移動=折立~太郎平~薬師岳山荘泊(6h03)
- 26(水) 薬師岳山荘~薬師岳~薬師岳山荘~黒部五郎岳~三俣山荘泊(11h29)
- 27(木) 三俣山荘~鷲羽岳~水晶小屋~水晶岳~温泉沢ノ頭~赤牛岳~高天原山荘泊(8h47)
- 28(金) 高天原山荘~雲ノ平~折立(10h17)~帰宅

<まとめ・報告>

27日(木)

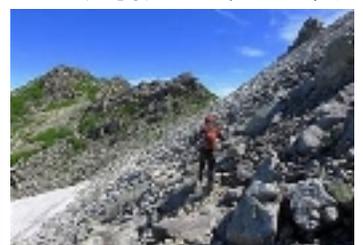
- 05:42 三俣山荘~06:44 鷲羽岳~07:58 水晶小屋~08:33 水晶岳~09:18 温泉沢ノ頭。  
初めは赤牛岳をピストンした後水晶小屋まで戻って1泊し、岩苔乗越から高天原山荘へ行く予定だったが、地図を見ると温泉沢ノ頭から高天原山荘へ直接下れそうなので、温泉沢ノ頭にザックをデポして赤牛岳に向かう。赤牛岳へは基本的には緩やかなアップダウンの歩き易い稜線だが、それでも所々にガレ場や大石がゴロゴロする上を渡る場所や白い巨岩のロックガーデンもあり、趣の異なるピークが次々とガスの中に現れ1つ1つ乗り越えて行く。片道2時間だがひたすら長く感じる。途中烏帽子岳方面の山々が見えたが直ぐにガスの中に消え山座同定もままならず。
- 10:00 老人とすれ違う。「赤牛岳は？」と聞くと「まだまだ」と一言。水晶小屋から赤牛岳へピストンとの事。ストック1本でひよいひよいと歩いて行く。達者な人だ。
- 10:31 赤牛岳山頂。広い山頂で三角点標柱が3本あり、内2本は抜けたり折れたりしている。強風の中岩陰で昼食を摂り温泉沢ノ頭へ引き返す。濃いガスの中を脇見をする事無くひたすら歩く。
- 12:04 温泉沢ノ頭。ガスが切れ高天原山荘を見下ろすと小さな池塘が沢山あり中々美しい所だ。ここから狭くて急坂のガレ場を下る。地図ではルートは点線表示で熟達者向きとなっている。何度か滑りながらも何とか無事樹林帯まで下る。樹林帯の中はまあまあ歩き易いが、その後温泉沢に出たからの河原歩きが凄かった。自然のままの巨石が転がる河原を渡渉を何度も繰り返しながら右岸・左岸へと渡り歩く。赤い丸のペンキマークも少なく、小さなケルンを頼りに進む。何度も立ち止まりルートを確認。悪沢岳への小渋川ルートを思い出した。
- 14:29 高天原山荘着。途中三俣山荘でお世話になった名古屋夫妻とすれ違う。岩苔乗越から直接高天原山荘に着きこれから高天原温泉へ向かうと言う。こちら早々にチェックインして温泉に向かう。温泉に浸かる前にと龍昌池へ行くと赤牛岳がくっきり見えた。壁の様に立ち並ぶ赤牛岳への稜線と池とのコラボが素晴らしい。熱めの温泉にゆっくり浸かって疲れを落とし、小屋への帰りは折角さっぱりしたのでまた汗をかかぬようゆっくり歩く。小屋のテラスで記録を書いたり、小屋の前の湿原を散策したりしてゆったりと過ごす。湿原は山の上から見た通り池塘が多いが、目の高さからは見えにくいので物見台が2ヶ所設けてあった。小屋へ戻りビールやウィスキーを飲んでホッとする。
- 17:00~夕食。しっかり食べて眠る。水晶小屋は2人で1枚の布団との事だったが、こちらは1人1枚でゆったり眠れる。ランプの灯りは雰囲気は良いが流石に喉には悪い。

28日(金)

- 04:40 起床。05:00~朝食。05:29 名古屋夫妻に別れを告げて高天原山荘発。今朝もガスっている。
- 06:17 水晶池分岐。池まで3分との事なので行って見ると、丁度水晶岳山頂が見えて来た。
- 06:23 水晶池に着いた途端ガスが切れる。水は少ないが水面に水晶岳を映し美しい池だ。  
午後から天気が崩れるとの予報。昨日の内に高天原山荘まで行けたので、このガスの中雲ノ平山荘に泊まるのも勿体無いのでそのまま薬師沢~太郎平~折立に戻り帰宅した。

1997年7月7月27日(日)~8月1日(金)に第18回登山祭典でこの山域を訪れて以来12年ぶりに今回は単独で再訪した。あの頃の自分の実力では到底叶わない夢の様な山行だった。

登山祭典のおかげでこの様な山行が出来る様になった事、直腸癌で生きる希望を失いかけた時、登山と言う生甲斐を与えて貰った事に感謝している。



## 6月号案内 表紙の写真

屋根谷 克己 さん (らくなん山の会)

### ひまわり

秋口に交野山方面から枚方の穂谷集落に下りてきたら、暑い中にもかかわらず良く咲いていました。



\*5月の連休前になると各地で冬季閉鎖されていた道路が除雪され、通行が可能になって一気に旅行者が繰り出します。

高山でも雪解けが急速に進みますが、6月でも残雪はまだまだ豊富でスリップや滑落などの事故も起きやすい時期でもあります。

また、雪が消えたばかりの登山道周辺は岩が不安定で転倒などの事故落石の危険も高まります。

冬の間一旦リセットされていた体力の回復につとめ、十分準備して登山を始めましょう。

### <お知らせ>

#### 表紙のイラストや写真を提供ください

「提案 情報 投稿」原稿を募集しています。

連載企画の内容でもOKです。

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。

例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方」など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

**【投稿先】** 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス [hirossan-1954@nifty.com](mailto:hirossan-1954@nifty.com)

\*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

\*字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下23mm

## 2025年 京都市連盟 月間予定表

6月 (水無月・JUN)		
1	日	クリーンハイク
2	月	自然保護委員会
3	火	事務局長会議
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	登山道整備 全国ハイキングリーダー学校
8	日	初級机上6 全国ハイキングリーダー学校
9	月	常任理事会
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	初級実技13 岩稜縦走④ 青年委員会クライミング体験会③
16	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
17	火	教育委員会
18	水	
19	木	
20	金	やまびこ利用日
21	土	女性委員会交流山行「瓢箪崩山」
22	日	無雪期搬出訓練 初級実技14
23	月	常任理事会
24	火	気象勉強会
25	水	女性委員会
26	木	
27	金	
28	土	自然観察会「嵯峨 観空寺谷」
29	日	
30	月	

7月 (文月・JUL)		
1	火	事務局長会議
2	水	
3	木	
4	金	夏山アルパイン連絡会
5	土	
6	日	初級実技15 岩稜縦走⑤ 青年委員会クライミング体験会④
7	月	自然保護委員会
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	大文字山登山道整備
13	日	初級実技16 岩稜縦走⑥
14	月	常任理事会
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	やまびこ利用日
19	土	
20	日	
21	月	海の日
22	火	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会 気象勉強会
23	水	女性委員会
24	木	
25	金	初級実技17 修了山行 西穂～奥穂
26	土	初級実技17 修了山行 西穂～奥穂
27	日	初級実技17 修了山行 西穂～奥穂
28	月	常任理事会
29	火	
30	水	
31	木	